



第97回三重県中央メーデーに参加

2026年4月25日（土）津お城西公園において、連合三重主催の第97回三重県中央メーデーが開催され、各産別組織より1000人を超える組合員が結集しました。三重地本からは地本役員4名が参加しました。

式典は「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してくらせる社会を！」をスローガンに掲げ、主催者である連合三重、番条会長の挨拶に始まり、一見三重県知事、前葉津市長ら来賓の祝辞に続き、第97回メーデー宣言が提案され、参加者の万雷の拍手により確認されました。最後に番条会長の発声のもと、参加者全員によるガンバロー三唱で式典を締めくくりました。



三重県中央メーデー式典の様子



連合三重 番条会長



ガンバロー三唱

メーデー (May Day) とは

1886年5月1日にアメリカの労働者が8時間労働制を要求してストライキを行ったのが起源です。当時の労働者は低賃金で1日12時間以上働かされるなど過酷な生活を強いられ、労働時間の短縮は悲願でした。

日本では1920年5月2日に第1回のメーデーが行われ、東京の上野公園に1万人の労働者が集まり、8時間労働制や失業の防止、最低賃金法の制定などを訴えました。これ以降、メーデーは「労働者の祭典」として労働者が団結して権利を要求する日とされています。